

国語

	4 学年	時 数	5 学年	時 数	6 学年	時 数
4	○こんなところが同じだね ○春のうた つづけてみよう 1 場面と場面をつなげて読み、考えたことを話そう ○白いぼうし ○図書館の達人になろう ○漢字の組み立て ○漢字辞典の使い方 ○春の楽しみ	17	○教えて、あなたのこと ○かかんがえるのって おもしろい 1 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう ○なまえつけてよ ○図書館を使いこなそう ○漢字の成り立ち ○きいて、きいて、きいてみよう	13	○つないで、つないで、一つのお話 ○春の河 小景異情 続けてみよう 1 視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう ・帰り道 ○地域の施設を活用しよう ○漢字の形と音・意味 ○春のいぶき	11
5	○話し方や聞き方から伝わること ○漢字の広場① 2 筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう ○思いやりのデザイン アップとルーズで伝える ○カンジーはかせの都道府県の旅 1	19	2 文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう ○見立てる ○言葉の意味が分かること ○和語・漢語・外来語	15	○聞いて、考えを深めよう ○漢字の広場 2 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう ・笑うから楽しい ・時計の時間と心の時間 ・【情報】主張と事例 ○話し言葉と書き言葉	15
6	○お礼の気持ちを伝えよう ○漢字の広場② 3 場面の様子をくらべて読み、感想を書こう ○一つの花 ○つなぎ言葉のはたらきを知ろう ○短歌・俳句に親しもう (一)	20	○日常を十七音で ○古典の世界 (一) ○みんなが過ごしやすい町へ	14	○たのしみは ○文の組み立て ○天地の文 ○【情報】情報と情報をつなげて伝えるとき ○私たちにできること	17
7	○アンケート調査のしかた ○カンジーはかせの都道府県の旅 2 ○夏の楽しみ ○ランドセルは海をこえて	22	○同じ読み方の漢字 ○作家で広げるわたしたちの読書 ○カレーライス	9	○夏のさかり ○本は友達・私と本・森へ	7
9	○忘れもの ぼくは川 ○あなたなら、どう言う ○パンフレットを読もう ○いろいろな意味をもつ言葉 ○漢字の広場③	12	○からたちの花 ○どちらを選びますか ○新聞を読もう ○敬語 3 物語の全体像をとらえ、考えたことを伝え合おう ○たずねびと	14	○せんねん まんねん ○いちばん大事なものは ○利用案内を読もう ○熟語の成り立ち ○漢字の広場	9
10	4 気持ちの変化を読み、考えたことを話そう ○こんぎつね ○秋の楽しみ ○クラスみんなで決めるには ○漢字の広場④	25	○漢字の読み方と使い方 ○よりよい学校生活のために 4 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう ○固有種が教えてくれること	14	3 作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう ・やまなし ・【資料】イーハトーヴの夢 ○言葉の変化 ○秋深し ○みんなで楽しく過ごすために ○【コラム】伝えるにくいことを伝える	15
11	5 中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう ○世界にはこる和紙 ○百科事典での調べ方 伝統工芸のよさを伝えよう ○慣用句 ○短歌・俳句に親しもう (二) ○漢字の広場⑤	22	○グラフや表を用いて書こう ○古典芸能の世界 語りで伝える ○カンジー博士の暗号解説 古典の世界 (二)	11	○漢字の広場 4 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう ・『鳥獣戯画』を読む ・【情報】調べた情報の使い方 ・日本文化を発信しよう ○古典芸能の世界一演じて伝える ○カンジー博士の漢字学習の秘伝 ○漢字の広場	15
12	6 登場人物の変化を中心に読み、物語をしようかいしよう ○プラタナスの木 ○感動を言葉に ○冬の楽しみ ○野原の仲間になって ○冬の風景	19	5 伝記を読み、自分の生き方について考えよう ○やなせたかし アンパンマンの勇気 ○あなたは、どう考える	12	5 伝統文化を楽しもう ・狂言 柿山伏 ・「柿山伏」について ○大切にしたい言葉 ○漢字の広場 ○冬のおとずれ	13
1	○自分だけの詩集を作ろう ○熟語の意味 ○漢字の広場⑥ 7 きょうみをもったところを中心にしようかいしよう ○ウナギのなぞを追って	19	○生活の中で詩を楽しもう ○方言と共通語 6 事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう ○想像力のスイッチを入れよう ○複合語	13	○詩を朗読してしようかいしよう ○仮名の由来 6 筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話そう ・メディアと人間社会 ・大切な人と深くつながるために ・【資料】プログラミングで未来を創る ○漢字を正しく使えるように ○【コラム】覚えておきたい言葉	11
2	○つながりに気をつけよう ○つながりに気をつけよう ○もしものときにそなえよう ○調べて話そう、生活調査隊	25	○伝わる表現を選ぼう ○この本、おすすめします ○提案しよう、言葉とわたしたち	16	○人を引きつける表現 ○思い出を言葉に ○今、私は、ぼくは	16
3	○まちがえやすい漢字 6 読んで感じたことをまとめ、伝えよう ○初雪のふる日	10	○日本語の表記 7 すぐれた表現に着目して読み、物語のみりよくをまとめよう ○大造じいさんとガン	9	○漢字の広場 7 登場人物の関係をとりえ、人物の生き方について話そう ・海の命 ○中学校へつなげよう ○生きる ○今、あなたに考えてほしいこと	11
	総授業時数	210	総授業時数	140	総授業時数	140
保護者の皆様へ	言語の力をは育むための元になる教科が国語です。記録，説明，批評，論述，討論などの活動を学年に応じて取り組みます。この活動を行うためには「話す・聞く」ができていることが条件です。学校では様々な教育活動を通して指導しますが、家庭でも「話をしっかり聞く」「自分の言いたいことをはっきり伝える」などを心がけてください。音読の家庭学習では、サインなどを書いていただき、励ましの言葉をかけてあげてください。また、「ていねいに書く」ことも、基礎学力定着のためには大切なことです。やり直しをさせながらていねいに書く力をつけさせていきますので、子どもたちのノートなどを時々見てあげてください。					